

OMM JAPAN 2023 KITAYATSUGATAKE

コースプランナーレポート

コースプランナー
谷川 友太

開催までの経緯

3年ほど前から北八ヶ岳のエリアは候補地にあがっていたが、会場やキャンプ場の利用、自治体の協力を得られることとなり、今回の開催地に決定した。

現地の調査は5月に宮内氏に林道や登山道の基礎調査を行ってもらった。6月以降に谷川、小泉、坂野により全域の調査を始め、地図の修正やコントロール位置候補の決定を行った。

9月上旬に試走を行い、その結果を受けコースの調整をし、距離や難易度の調整を行った。2日目のE,Aクラスでは林道を走る区間が多く初めの想定よりも短くなったため、回しを変えて大きく距離を伸ばした。林業作業地や調査の不十分な箇所も見つけられたため、追加調査を行い、10月上旬にあらかたのコースを確定した。

地図の入稿の1週間ほど前に外国放送受信所の範囲に入れないことが分かり、対策としてそこを迂回するコースに変更する案があがった。小泉氏に迂回で利用するエリアの現地確認に再度行ってもらい使えることが分かったので迂回することとし、前後のコースを調整し確定した。

コースプランの留意点

はじめは雨池あたりの登山道も範囲として考えていたが、調査で道から外れにくく、また走行が想定以上に困難であることが判明したため、このエリアの利用を見送ることとした。範囲としては会場のすぐ北のエリアは2日間で共通となるが、回しを変えることで同じようにならないよう心がけた。また、スキー場が会場だと1日目にスキー場を登りスタートし、2日目にスキー場を下って帰ってくることになりがちだったが、今回は1日目のスタートから森に入ることとし、例年と違った印象になるようにした。全体として林道が多くありどの道を使うかや、どこの部分で道を外れるかというルート選択を問う課題が多くなった。Scoreでは、スタートから離れた場所に1つ目のコントロールを配置したり、配点の調整によってバランスを取り、参加者が最初のコントロールでスコアに集中しすぎないように心がけた。

また、昨年のオンラインコントロールでの付け替え作業が大会当日の負担となった経験から、今回はクラス全体で共通のコントロールを採用し、付け替えの必要性をなくした。

Result より

Straight の結果は表 1 の通りである。1 日目が全てのクラスにおいて、予想よりも大幅に短くなった。原因としては、試走時よりも植生が改善され走りやすくなったこと、道が多く全体としてのペースが想定より速かったこと、そして外国放送受信所の迂回によりさらに道の割合が増加したことがあげられる。参加者から「簡単だった」との声も多く聞かれ、大会の難易度に関する課題となった。

一方で、2 日目は E,B クラスではおおむね予想通りのウイニング、A クラスにおいてはやや長めとなった。ウイニングが想定通りでも完走率が想定より高かった。道を使える割合が多かったこととコントロール位置が易しめだったことで差が付きにくかったことが考えられる。参加者のレベルが上がってきていることもあるので、今後も難易度とウイニングについて検討し、バランスの取れたコースを目指していく。

日	コース	制限時間	ウイニング	コース距離	想定登距離	想定ルート距離	距離+登(L)	Top5平均(5)	Top5 pace	完走率	完走	失格
Day1	E	10h	6-6.5h	20.7	1400	32	46	5:24:39	0:07:03	87%	53	8
	A	9h	5.5-6h	15.8	1120	23.5	34.7	4:43:53	0:08:11	79%	92	25
	B	7h	4.5-5h	11	720	18	25.2	4:02:40	0:09:38	74%	93	33
Day2	E	10h	4.5-5h	20.3	1280	25	37.8	4:55:29	0:07:49	87%	52	8
	A	9h	3.5-4h	14.6	940	16	25.4	4:27:54	0:10:33	65%	76	41
	B	7h	3-3.5h	9.4	860	13	21.6	2:50:13	0:07:53	82%	103	22

表 1. OMM JAPAN Straight コース結果

Score の結果は表 2 の通り。両日両クラスともおおむね想定通りの設定になった。序盤のコントロールで集中しないようコースを調整したが、1 日目では AC に Score L,M 計 448 チーム中 391 チーム、2 日目の DK は 261 チーム、AD は 246 チームが訪れている。同時に多くのチームがスタートするためある程度集中するのは仕方ないが、渋滞やコントロールに集まりすぎてコントロール位置がすぐわかってしまうことのないよう、次回も引き続き検討していきたい。

日	コース	制限時間	満点	想定優勝得点率	Top Score	Top得点率	Top5平均	Top5得点率	平均点	中央値	完走率	完走	失格
Day1	L	7h+1	750	60-70%	630	84%	550	73%	304	300	99%	304	2
	M	6h+0.5	600	60-70%	480	80%	432	72%	211	210	97%	138	4
Day2	L	6h+1	600	75-90%	440	73%	436	73%	243	250	98%	297	5
	M	5h+0.5	600	75-90%	410	68%	364	61%	221	235	90%	77	9

表 2. OMM JAPAN Score コース結果